

# 北鎌倉だより



台の峯と谷を、いっしょに歩く。

——へえー、鎌倉にこんなところがあったの！

来て見なければ分からない。そして見れば、これはこのまま残っていて欲しいと思う。だが、近くに住んでいて、まだ見たことのない人が、どれだけいるだろう。そして、知らなかったがために、知らないうちに壊されてしまった身近な貴重な自然が、どれだけあっただろう。 なだ いなだ

## 目次

■「台峯の生命の叫び」詩の朗読とコンサート.....	2
■ヘイケボタル観察会.....	3
■赤道の手入れと物置小屋.....	4
■猛暑とドシャ降り.....	5
■暑さを耐えた8月 台峯の草木たち.....	6
■<フリートーク>会員の声 他.....	7
■活動報告.....	8
■会計報告.....	9
■伝言板.....	10

# 「台峯の生命の叫び」 —詩の朗読とコンサート—

詩人・童話作家 工藤直子

自然音楽歌手・作曲家 青木由有子



北鎌倉台峯トラストによる第五回講演&チャリティーコンサートが、6月6日、北鎌倉女子学園にて開催されました。

当会の代表、なだいなだの開会の挨拶、つづいて、当トラスト3回目の出演となるリラ自然音楽歌手の青木由有子さんの清麗な歌声がホールに満ち溢れ、参加者の心を和ませました。青木さんは自然界から聞きとったメロディーをリラヴォイスという特殊な発声法で歌う独特な音楽の世界を創り出し、ストレスを抱えた人々へのスピリチュアルなコンサートを各地で精力的に行うほか、地球の自然を守るためのチャリティー・コンサートを学校、ホスピス施設などで数多く行っています。

山波言太郎氏による自作の詩の朗読も交えたコンサートの最後は「北鎌倉の風」（作詞山波言太郎氏、作曲青木由有子さん）を全員で歌唱し、この場を一層盛り上げました。

次に登場していただいた工藤直子さんは、なだ先生とは旧知の間柄で、お忙しい日程をやりくりされての初参加となりました。1935年台湾のお生まれ、竹箆網や糸紡ぎのかたわら、詩集や童話を発表、90年に芸術選奨文部大臣賞を受賞され、著書には、「てつがくのライオン」「のはらうた」「ねこはしる」等多数。一時梶原にお住まいで、北鎌倉に縁のある方です。童話作者としても著名で、大人はもとより子ども達にも人気があり、この日も作者自らによる朗読では、気さくな人柄からあふれるユーモアに参加者の笑いが絶えませんでした。その中から、「てれるぜかまきりゆうじ」の一節をご紹介しますと、

『もちろん おれは のはらの  
たいしょうだぜ そうとも おれは  
くさむらの えいゆうだぜ  
しかしなあ おれだって  
あまったりたいときも あるんだぜ





## 赤道（あかみち）手入れと物置小屋

それはトラスト運動の新たな一歩

梶原の山ノ内配水池脇から台峯に入る小道を少し登ると右手に民家が見える。その先の椎の木の根もとにその小屋は建っている。どこでもみかけるスチール物置だが、きみどり色の「北鎌倉台峯トラスト」の文字が、道行く人にトラストの存在を教えてくれる。「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」は略称「北鎌倉台峯トラスト」という。トラストというからには台峯を取り巻く自然や歴史的環境を

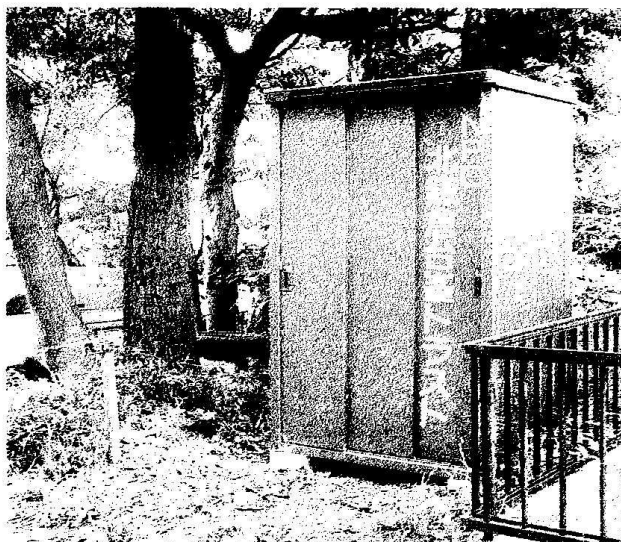


守る為に、基金を集め、土地を買い取ったり、寄付を依頼する活動をと、お思いだろう。そのとおりで、常々、早く期待に応えなければと思っている。また台峯の持つ魅力をさらに多くの人に知ってもらいたいとの思いも持ち続けている。この二つの「思い」は活動を進めていく上でのベースになっている。これらの「思い」が物置小屋に集約されたといったら、「わけわかんないし」となるだろう。話はこうだ。台峯を多くの人に知ってもらう為に毎月「なだいなだと北鎌倉を歩く」ウォーキングを開催している。もう70回を超える

までになった。1年間、歩いていて気がついた。この道はアスファルトの道路と違い、手入れをしないとすぐ自然に戻ってしまうということ。台峯を縦横に走る小道は「赤道」とよばれている。これらの道は「公道」だけど県道、市道のように認定道路として維持管理に予算がつかない為、公図上、朱色で塗られていたので「赤道」なのだ。この「赤道」を手入れする作業ができれば、歩くにも安全だし、台峯と直接肌で触れ合い、台峯の魅力を身近に感じ取れるに違いない。早速市長宛に「手入れをさせて欲しい」と要望書を出した。2001年春のことだ。「手入れ」って何をやるの？素手で出来るの？最初は参加者が自宅からカマやハサミなどもちよった。「手入れの仕方」については、この分野でも専門家の久保さんをお願いした。これが縁で久保さんには毎回、お付き合いいただいている。手入れは「汗を流して」の地味な作業となるが、作業後の快感はなんともいえない。是非参加して体験することをおすすめしたい。



月1回、定例山歩きの前日の午後行っているが、回を重ねるにつれ整備用のカマ、剪定バサミ、スコップ、土嚢袋、のこぎりなどが増え、どこかに物置小屋を建てられたら便利だなということになった。一方、土地の買収作業はなかなか具体的な交渉には



いれていない。買収価格ひとつとっても、行政と地権者組合との話しが継続している中で単独に価格を決定してしまうことは影響が大きすぎるという訳だ。でも何とか前進したい。そこで出てきたのが対象敷地に隣接する土地の買収ではなく物置小屋用として借りる案だ。適当な候補地を探し、何度かの話し合いの結果、趣旨に賛成して下さる地権者の方と、やっとの思いで土地の賃貸借契約書を交わすことが出来た。わずかではあるが、賃料だってお支払いしている。今年の五月のことだ。借地上の物置小屋は私たちのシンボルであり、物置小屋が出来たことでトラスト運動としての「新たな一歩」を踏み出すことが出来たと思っている。最後に会員の皆様のご協力に感謝します。

(事務局 望月真樹)

## 猛暑とドシャ降り

### 8月の赤道整備と山歩き

毎月、第三土・日曜日は、それぞれ「赤道の整備」「台峯・山歩きの会」です。

今年の夏の暑さはこの他厳しく、14日はいつもより2時間遅い午後3時に集合、下草刈りを行いました。ひと月前に刈ったカナムグラやヤブガラシが生い茂り慣れぬ手付きで全員がしっかり汗をかきました。

そして15日、前日とは10度以上気温も下がり朝からの雨で「歩く会も中止かな」などと思いながら会場へ。9時半には、なだ代表を始めとして17名参加。久保さんの「雲が切れているから大丈夫でしょう」の言葉に後押しされこの日もまたまた決行。公会堂を出てから中央公園迄文字道り

のドシャ降り。それでも例年に比べて約1カ月程早い台峯の秋のきざしをそれぞれが感ずることが出来ました。ヤブミョウガの白い花の群生が印象的でした。赤道整備は汗で、山歩きでは雨で、ビショビショの2日間でした。

(企画 望月晶夫)



台峯の草木たち

— 稲穂・ヤブミョウガ・クサギ・センニンソウ・ヤハズ・イヌゴマ・ヤブツルアズキ・ナンバンギセル —

今年は、カラ梅雨に加え真夏日が連続40日と新記録を塗り変えた。田圃も干上がる程の暑い暑い毎日でした。それがこの第3日曜日に限って朝からのドシャ降り！この雨の中でも熱心な方々が20人程山ノ内公会堂に集まりました。

「東京から帰って来ると、暑さで参った身体を北鎌倉の緑が優しく癒してくれる。これを大切に残したい」との、なだ先生のご挨拶。

広町でのアライグマ調査捕獲に反対する動物愛護団体のデモの話から、鎌倉の台湾リス

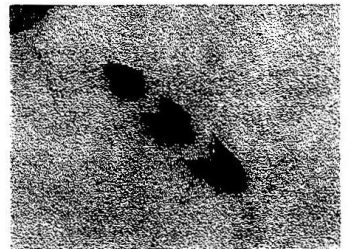


やアライグマの被害と動物愛護、「皆、動物や植物、自然が大好きな人達なのだから、もっと今何をすべきかの話し合いの場が持てないものか」との久保さんのお話に頷く頃には雨も小休止。「取り敢えず台峯まで登ってみますか」と、いざ出発！！

稲田ではもう穂が出ており、ヤブミョウガは白い花の間に緑の実を覗かせ、クサギやセンニン草が咲き……。この長い日照りの中を

じっと耐えてきた植物達は、今日の恵の雨をどんなに待っていたことか、山全体が嬉しそうに輝いていました。クヌギの樹で見つけたカブト虫も緑や黒のカナブン達もすっかり元気を取り戻したよう

です。老人の畑で、来月はここからサンバの渡りが見られるといいなとモヤに煙



る六国見山、勝上嶽、大平山の山並みを眺め、手折ってきたヤハズの葉の裂け方に皆が感心しているうちに「林の中の方が雨も少ないよ」との声あり、結局、谷戸の池に降りることになりました。

昨日あの暑さの中で草刈して道を整備して下さった幹事の方々に感謝しながら、雨に洗われた緑の美しさをしみじみと眺め、久しぶりに勢い良く流れる小川に感激し、藤色の花を付けたイヌゴマや ヤブツルアズキは昔はもっと沢山あったとか、ここら一面光ゴケに被われていたとお聞きしながら、自然を残す大切さ、難しさを感じた谷戸歩きでした。

そうそう、季節の巡るのが10日程早い今年、9月にと思っていたナンバンギセルがもう摩訶不思議な姿を見せてくれました。

中央公園ではトンボの産卵用の水場が干上り、如何してしまったかと心配していたがこの雨で水が戻り、土の中から昆虫や小動物出て来ているらしく、人間が考える以上に彼等はしたたかに生きているようでした。

(今井光 会員)



ここも鎌倉？これも鎌倉の時間？ と立ち止まって自分に言い聞かせました。小町通りも北鎌倉駅前も鎌倉ならここも鎌倉なのですね。「東京から電車が北鎌倉に入ると、風が違う」と言われますが、その風はこの森から吹き抜けているんだなあ、と思いました。私の住む極楽寺付近にも山道はありますが、すぐ抜けてしまいます。台峯の深い森。ゆっくりのんびり散策。会の皆さまが前日に下見をなさっていると知って、一人でも多くの方が体験できるよう、永遠に存在するよう祈らずにはられません。  
(藤本美津子)

### ☆イベントアンケートより

- なだいなださんのお言葉、青木由有子さんの歌声、工藤直子さんの朗読がすばらしかった。
- 何年も前から一度きいてみたかった青木さんの歌を生でできた。
- 青木由有子さんの歌声も、山波言太郎さんの朗読も、工藤直子さんの講演も朗読もどれもとっても良かったです。
- 青木由有子さんの歌にいやされました。工藤直子さんの人間性に興味がわきました。ありがとうございました。
- 自然を守る人々が連携出来て情報交換も出来てとてもいい。
- 手作りの良さにあふれていた。
- 非常によかった。2000円と安価なのでとても来やすい。「おはつ」等もたいへんよかった。工藤さんには前から興味があったので、見て、お話もきけてとてもうれしい。とてもチャームングなただとおもった。
- 広い自然界へ導いて下さる美しい歌声と楽しいお話。思いがけない動物界のこと。わたしも元気をだして少しでも自然と一緒に歩きたいと思いました。

### お知らせ『トラストの集い』

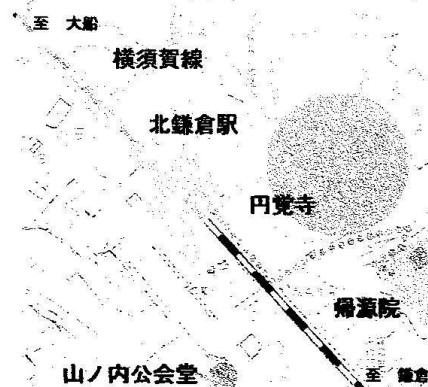
第6回『トラストの集い』を11月28日に帰源院で行ないます。会員相互の意見交換と親睦を図る会です。是非ご参加ください。

会場の帰源院は円覚寺の塔頭の一つで、夏目漱石はここで参禅しここでの体験を「門」に書いています。普段は一般に公開されていません。この機会にいかがですか。

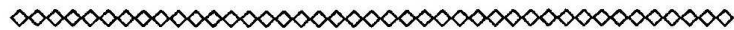
参加無料

※日時：11月28日(日)午後1時より

※場所：帰源院



## 活動報告 (2004年4月～8月)



### ○定例理事会

4月度理事会 4月4日

5月度理事会 5月2日

6月度理事会 6月6日

7月度理事会 7月4日

8月度理事会 8月1日

毎月第1日曜日午前10時から 北鎌倉山ノ内公会堂で開催

### ○街頭募金

6月16日北鎌倉駅頭午前9時半～11時  
当基金趣意書及び会員申込用紙など配布。  
寄付金は5,000円強。今秋に3回ほど予定。

### ○機関誌「北鎌倉の風」第5号

6月6日のイベントにあわせ発行。  
定価500円 会員には無料配布。  
バックナンバーも是非ご覧ください。

### ○なだいなだと北鎌倉周辺を歩く

4月18日 野鳥のさえずり4

5月16日 ハルジオンと昆虫

6月20日 ほたる

7月18日 7月に咲く花とセミ

8月15日 夏のツル草

毎月第3日曜日 台峯と倉久保の谷戸を  
歩き自然を味わう。歩く会は8月で70回  
を数える。毎回40人程度の参加者がある。



各500円でお分けしています。

### ○赤道整備作業

4/17 5/15 6/19 7/17 8/14に実施  
月1回、「台峯・山歩きの会」の前日午後  
1時から2時間、翌日歩くコースとその  
周りの整備を行なう。

(P4,5 記事)

### ○催し物

6月6日 チャリティーコンサート  
「青木由有子が歌い工藤直子が読み語る」  
北鎌倉女子学園講堂 参加者356人  
(P2,3 記事)

7月10日 ヘイケボタルを見る会  
午後6時から 参加者22人(子供3人)  
(P3 記事)

### ○物置小屋設置

6月に物置小屋を設置。 (P5 記事)



# 会計報告

(平成16年4月1日より8月末迄)

特定非営利活動法人  
北鎌倉の景観を後世に伝える基金

科目	16年度予算	4月～8月迄	予算残高	摘要	
取 入	入会金	10,000		10,000	
	個人会費	760,000	187,500	572,500	89名
	団体会費	18,000	5,000	13,000	2件
	セミナー収入	700,000	586,000	114,000	イベント、チケット売上げ
	民間助成金	100,000	10,907	89,093	店舗募金箱
	寄付金	500,000	257,093	242,907	13件
	街頭募金	50,000	5,282	44,718	円覚寺前にて
	機関誌収入	250,000	93,400	156,600	2号、3号、4号、5号合計182冊
	受取利息	8,000	5,243	2,757	鎌倉市債利息¥3,800他
	雑収入	20,000	3,330	16,670	絵葉書
合計	2,416,000	1,153,755	1,262,245		
仮払金		10,000			
合計		10,000	10,000	事務局運転資金	
支 出	(緑地の保全・管理事業)				
	整備作業費	25,000		25,000	
	消耗品費	55,000	59,575	-4,575	道具小屋、鍵
	賃借料	11,000	12,000	-1,000	道具小屋、土地賃借料1年分
	諸謝金	20,000		20,000	
	(普及・研修・事業費)				
	通信費	150,000	32,180	117,820	会員宛イベントの御知らせ他
	旅費交通費	53,000	55,000	-2,000	出演者謝礼
	会議費		36,117	-36,117	イベント当日昼食代他
	印刷製本費	30,000	39,854	-9,854	イベントチラシ他
	諸謝金	60,000	39,710	20,290	関係者謝礼
	事務消耗品費	50,000	23,582	26,418	イベント舞台の花他
	委託費	230,000	168,000	62,000	音響費
	賃借料	36,000	12,000	24,000	山歩き山ノ内公会堂
	損害保険料	8,800		8,800	
	雑費	35,000		35,000	
	(広報・出版事業費)				
	通信費	55,000	85,862	-30,862	HP回線使用料、機関誌郵送費
	印刷製本費	500,000		500,000	
	編集費	50,000		50,000	
	諸謝金		23,150	-23,150	関係者謝礼
	(交流・協力事業費)				
	通信費	5,000	1,370	3,630	送料
	旅費交通費	5,000		5,000	
	負担金	50,000		50,000	
	研修費	5,000		5,000	
	民間助成金	3,000	3,000	0	NPOセンター
	雑費、その他				
	(管理費)				
	旅費交通費	15,000		15,000	
通信費	75,000	7,170	67,830	会費振込み	
事務消耗品費	30,000	16,612	13,388	ラベル、プリペイドカード他	
賃借料	36,000	15,000	21,000	理事会、山ノ内公会堂	
会議費	10,000	12,800	-2,800	總會昼食代	
交際費		5,000	-5,000	関係者お見舞い	
雑費	28,000	28,590	-590	登記料、鎌倉市債利息税	
合計	1,630,800	676,572	954,228		

	前期より繰越	8月末残高	摘要	
保有 資産 ・ 負債	現金	27,713		
	当座預金	1,000,089	812,635	郵貯
	普通預金	529,765	462,653	郵貯¥283,711 東三¥178,942
	定期預金	11,191,161	11,452,597	郵貯¥9,619,201 東三¥1,833,396
	鎌倉市債	1,000,000	1,000,000	
合計	13,721,015	13,755,598		
	未払金	432,600	-432,600	機関誌5号発行費(支払済み)
	差引正味財産	13,288,415	13,288,415	
合計		13,288,415		

緑積立金； 12,452,597

\* イベント(6月6日) 総収入¥636,093 総支出¥363,011 差し引き収益¥273,082

以上の金額は、上記会計報告の中に含まれております。

## 伝 言 版

### 台峯を歩きませんか

毎月、第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合。歩く前に今月の見所聴きどころの説明があります。その際の配布資料が人気。その後台峯から鎌倉中央公園まで歩きます。説明を含め約3時間。案内は鎌倉自主探鳥会の久保さん、池さん他。(参加費なし、解散は正午頃。雨の日はフリートーク。)

### 山道手入れのお誘い

2001年初夏から、台峯の中の山道(赤道)の手入れを行っています。2時間ほどの作業。雨でぬかるんでいる所に笹を切り取って敷く作業、道を覆い尽くす雑草の除去、大雨で壊れた小川の土手の修理、階段の取り付けなど。作業用の服装でお出かけください。川具類は会の方で用意いたします。雨天中止。会員、非会員は問いません。

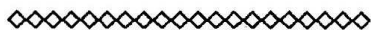
※作業日：毎月、第3日曜日の歩く会

前日の土曜日午後1時～3時まで

※集合場所：山崎小学校裏の道路上

※集合時間：午後1時

※各自用意するもの：飲物、手拭い、軍手、帽子



### 機関誌販売協力のお店

茶房 紫穂	鎌倉市山ノ内 395	0467-24-9732
輸入雑貨 bito	鎌倉市山ノ内 371	0467-22-6433
ギャラリー ネスト	鎌倉市台 1399-1	0467-47-9540
パタゴニア鎌倉	鎌倉市小町 1-13-12	0467-23-8970

### 山ノ内 マンション問題

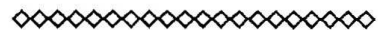
前号でお知らせした北鎌倉・山ノ内のマンション計画はその後、開発事業者が㈱大京に替わり、最近新らたなお知らせ看板が設置されました。

計画地は横須賀線北鎌倉駅の近く、大船寄りの線路沿いにあり、壮大な屋敷林と黒い板塀は北鎌倉の玄関口の象徴で、北鎌倉の景観を形成する重要な要素となっています。広い敷地内には大正期の洋館がありますが近々解体される危機に瀕しています。当トラストとしてはせめてこの洋館の記録を残そうと慶応大学(SFC)と鎌倉市に働きかけていたましたが、実現に至っていません。

### 新規会員募集中

年会費 年 2000 円

詳細は事務局までお問い合わせください。



### 会報 11号

発行日 2004年9月20日

発行者 NPO法人

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局〒247-0062 鎌倉市山ノ内704-9

TEL 0467-47-9892

[moc@kamakuranet.ne.jp](mailto:moc@kamakuranet.ne.jp)

<http://www.kitakamakura-trust.org/>

写真資料提供 池 英夫、石原瑞穂